

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価表 2023.12実施

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	3	日によってきいろぐみの人数が多い。細かい改善をしながら使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	13	0	クラス間で柔軟に職員のやりくりをしている。職員が増えてゆったり関わることが増えた。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	7	玄関の段差はスロープ等検討が必要。階段に手すりがついてよかった。部屋の小さな段差は細かく改善している。あかぐみの声の響きやすさ、刺激の多さを不快に思う子どもがいるかもしれないので個別に配慮している。園庭の周りの垣根は都度補修を行い、安全を保つようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	保育室2部屋の壁を張り替えた。掃除を丁寧にするように心がけている。倉庫等子どもに直接関係ないところも気にかけていく。
事業改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	13	0	日々の報告等で行えている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	0	保護者の移行を把握し、それに対する改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	0	ホームページ等で公開し、改善点等も記載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	3	第三者委員の活用を進めていく。保護者向けの事業所評価を活用している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	0	多く実施、参加している。外部研修報告会もためになっている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	0	保護者のニーズによりそいながら計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	1	園独自の発達評価表を使用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	担当者ミーティング等でそれぞれの子どものついてしっかり話し合っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	集団活動の中でも個別に関わる時間を作り支援に取り組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	0	プログラム担当職員の意見を聞いたり、前週の様子等も勘案して行っている。領域担当ミーティングを実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	0	固定化してもよい内容は繰り返し行いながら、子どもが飽きない工夫や季節の内容も取り入れている。他職員のプログラムを参考にしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	11	2	子どもやクラスのことを考えながら作成している。小集団の活動を適宜取り入れている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1	実施しているが、延長児を見ながらの時もあり、その時は確認がしにくいこともある。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0	短時間職員もいるため、すぐに行い共有できるように心がけている。翌朝の申し送りで共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1	プログラム表やメモを使用し、自分が記録できなくても他の職員に伝わるように工夫している。当日他業務で記入できない場合は、翌日に記入している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	0	年2回その他、必要に応じて実施している	
	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1	必要がある場合に参加している
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	6	医療的ケアが常時必要な子については親子通園をお願いしている。地域の医ケア児検討会に参加し今後の方向性を継続的に話し合っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	8	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12	1	密に連携がとれている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	情報共有ができています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	1	特別支援学校とはできています。普通小学校に行く子の引継ぎができるとよい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	2	交換研修や他事業所の見学等を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9	地域交流の事業は行っていないが、半数以上の子が保育所幼稚園との併行利用をしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13	0	各市町村や郡市の会議等に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	保護者の様子や変化も気づいたことがあれば報告している。引き続き送迎車利用児や祖父母の送迎時の様子も保護者へ伝えていきたい。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	2	親子行事等で支援を行っている。面談内で都度対応等について話している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	0	初回の契約時に説明している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0	適切に時間をかけて丁寧に行えている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	0	その場で答えられることはお話し、難しいことは検討して返すことを行っている。定期外でも保護者の状況に応じて面談を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	3	行事の中で話す機会を設けている。年間を通してもう少し増やしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	迅速に対応するように心がけている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	つくもだより、掲示物、SNSを活用している。行事後のSNSの発信をもう少し早くできるとよい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0	普段から気をつけている。行事の時の配慮等も、一人一人がしっかり意識している。
	39	障がいのある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0	子どもそれぞれの特性に応じて配慮している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	6	法人行事(九十九祭、講演会)を行っている。園独自には公開保育を行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生想定した訓練を実施しているか	8	5	各種マニュアルを作成中。保護者にも配布できるように準備している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	1	実際の動きを確認しながら訓練している。全職員、保護者も込みで具体的な訓練実施について検討する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	13	0	面接で聞き取り、書面に残している。面談でも新しい情報を聞くようにしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	3	保護者が指示書の内容を伝達している。医師の診断書を求めることに変更する予定。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	0	作成している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	0	時間をかけた研修が設定されている。外部研修の参加、法人内委員会への出席も行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	0	個別支援計画に記載し、保護者に説明する時にも十分気を付けている。